



「持続可能な社会の創り手を育てる学び ～SDGsの達成に資するカリキュラムの開発に向けて～」

2023年1月21日(土) 13:00～17:00

お申込みURL : <https://forms.gle/ZeQUexHwqA4HRPdE8> 申込締切1月20日、定員150名、参加費無料です。
お問合せ先 : 鈴木康弘 (名古屋大学減災連携研究センター、resilience.nagoya@gmail.com)



主催 : 日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
後援 : 地理学連携機構、日本ESD学会、ESD活動支援センター、特定非営利活動法人ESD-J、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所

持続可能な世界と地域を目指す多くの活動がSDGs (国連持続可能な開発目標) を軸に展開されています。そこで重要なことの一つはそれらを担う人材の育成で、そのための学びの深化と普及、そして教育現場と学術との連携が不可欠です。SDGs達成に資する小中高のカリキュラムの開発について、多様な実践事例を参考にしながら、一緒に考えてみませんか。

総司会 : 鈴木 康弘 (日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授)
高倉 美帆 (公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所研究員)

開会挨拶・趣旨説明 (13:00～13:10)

氷見山幸夫 (日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授)

第I部 初等教育のカリキュラム開発 (13:10～13:55)

- 13:10～13:25 報告1 「小3総合－生態系から学ぶ環境学習の模索と悩み」
新井 雅晶 (東京都足立区立北鹿浜小学校副校長)
- 13:25～13:40 報告2 「実験と観測データにもとづく小学校における海洋教育の教材開発」
丹羽 淑博 (日本学術会議特任連携会員、国立極地研究所特任研究員)
- 13:40～13:55 報告3 「水族館におけるオンラインを活用したプログラム開発」
天野 未知 (公益財団法人東京動物園協会教育普及センター長)

第II部 中等教育のカリキュラム開発 (13:55～14:40)

- 13:55～14:10 報告4 「アサリの3D模型を活用したカリキュラム開発」
小川 博久 (武蔵野大学非常勤講師)
小川 展弘 (東京大学大気海洋研究所技術専門職員)
- 14:10～14:25 報告5 「海洋ごみ問題への取り組みを通じた中高生の学びと成長」
井上 貴司 (山陽学園中学校・高等学校教諭・企画広報部長)
- 14:25～14:40 報告6 「北東アジアにおける平和教育共通カリキュラム作成の試み」
小林 亮 (日本学術会議特任連携会員、玉川大学教育学部教授)
- 14:40～14:50 <休憩>

第III部 高等教育と教員研修のカリキュラム開発 (14:50～15:35)

- 14:50～15:05 報告7 「SDGs の普及啓発に資する大学地理教育の役割」
小田 宏信 (日本学術会議特任連携会員、成蹊大学経済学部教授)
財城真寿美 (成蹊大学経済学部教授)
- 15:05～15:20 報告8 「ESD/SDGs の視点からの減災教育研修プログラムの開発と実践」
及川 幸彦 (奈良国立大学機構・奈良教育大学准教授)
- 15:20～15:35 報告9 「教職大学院カリキュラムにおける SDGs 導入の成果と課題」
本図 愛実 (宮城教育大学教職大学院教授)
市瀬 智紀 (宮城教育大学教育学部教授)

ディスカッション (15:35～16:55)

司会 : 窪川 かおる (日本学術会議連携会員、帝京大学先端総合研究機構客員教授)
コメンテーター : 春日 文子 (日本学術会議連携会員、国立環境研究所特任フェロー)
日置 光久 (日本学術会議連携会員、希望が丘学園統括顧問)

閉会挨拶 (16:55～17:00)

谷口 真人 (日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所副所長)